

# 2009年度2Q決算の概要

2009年10月29日  
住友金属工業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

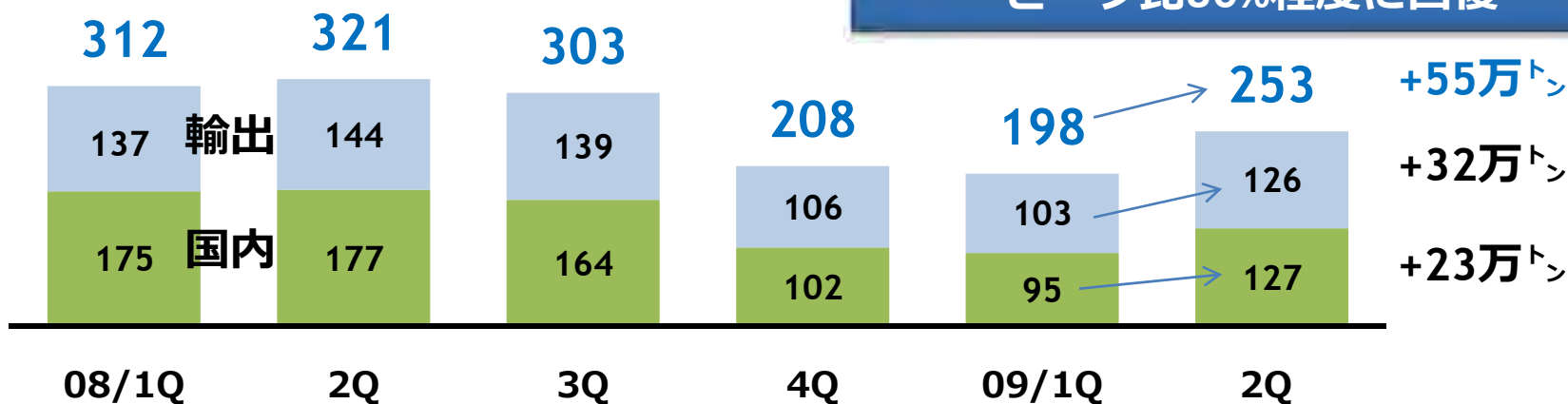
なお、本資料中、「粗鋼生産量」「鋼材販売量」「鋼材平均価格」と記載しているものは、(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住金鋼鉄和歌山を含んだ数値となっております。

# 09年度2Q決算実績

# 2Q決算ハイライト

万トン 鋼材販売量の推移

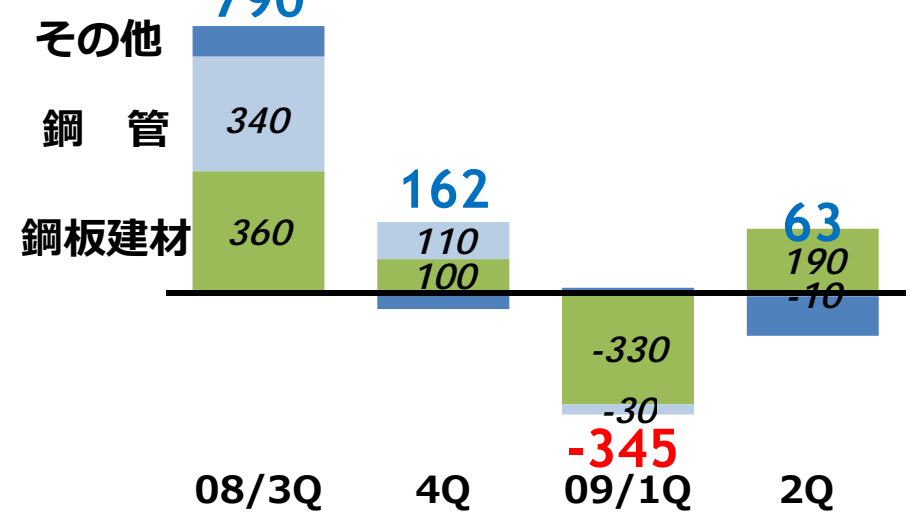
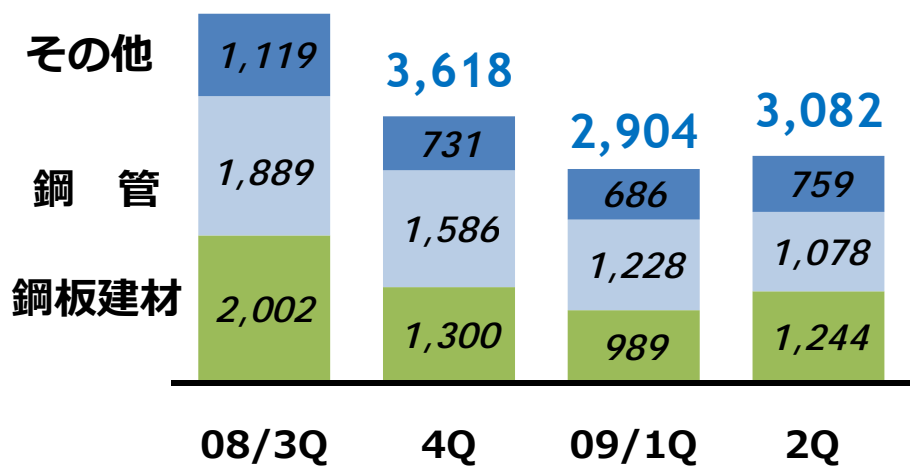
国内自動車向けを主体に販売量はピーク比80%程度に回復



販売量の増加と一過性要因の縮小を主因に営業利益は黒字回復

億円 売上高の推移

億円 営業利益の推移



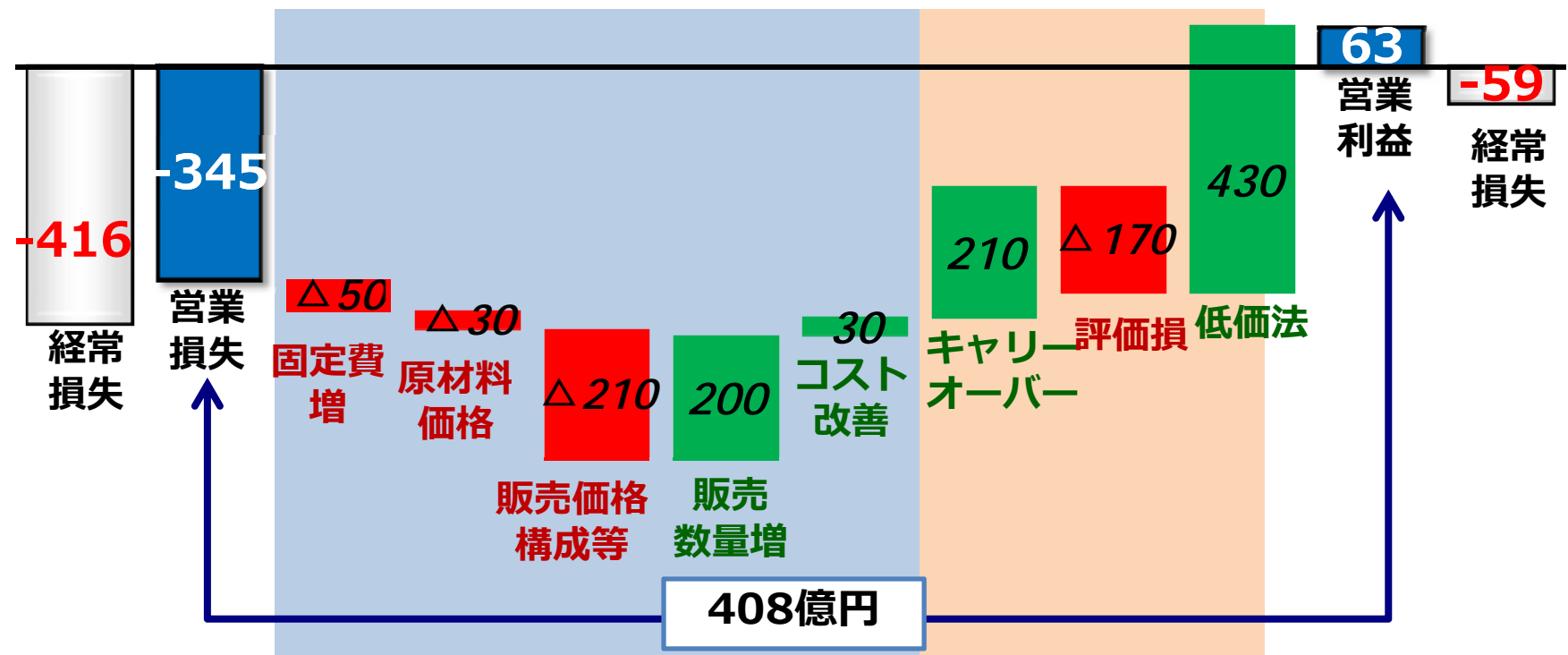
# 09年度上期決算概要

億円	08				〔7/30 見通し〕	09上期	増減	
	上期	下期	1Q	2Q			前年同期比	前期比
売上高	9,813	8,631	2,904	3,082	[5,900]	<b>5,987</b>	△3,825	△2,643
営業利益	1,307	953	△345	63	[△400]	<b>△280</b>	△1,588	△1,233
経常利益	1,517	740	△416	△59	[△700]	<b>△476</b>	△1,993	△1,216
特別損益	-	△312	-	△31	[ - ]	<b>△31</b>	△31	281
法人税等 少数株主損益	△596	△375	92	△52	[100]	<b>40</b>	636	415
当期純利益	920	52	△323	△143	[△600]	<b>△466</b>	△1,387	△519
1株当り 純利益(円)	19.85	1.13	△6.98	△3.09	[△12.94]	<b>△10.07</b>	△29.92	△11.20
為替レート (円/\$)	106	95	97	94	[96]	<b>95</b>	11円高	-

# 営業利益増減 (09/1Q→09/2Q)

販売量の増加、一過性要因の縮小等により営業損益は408億円  
好転し黒字回復

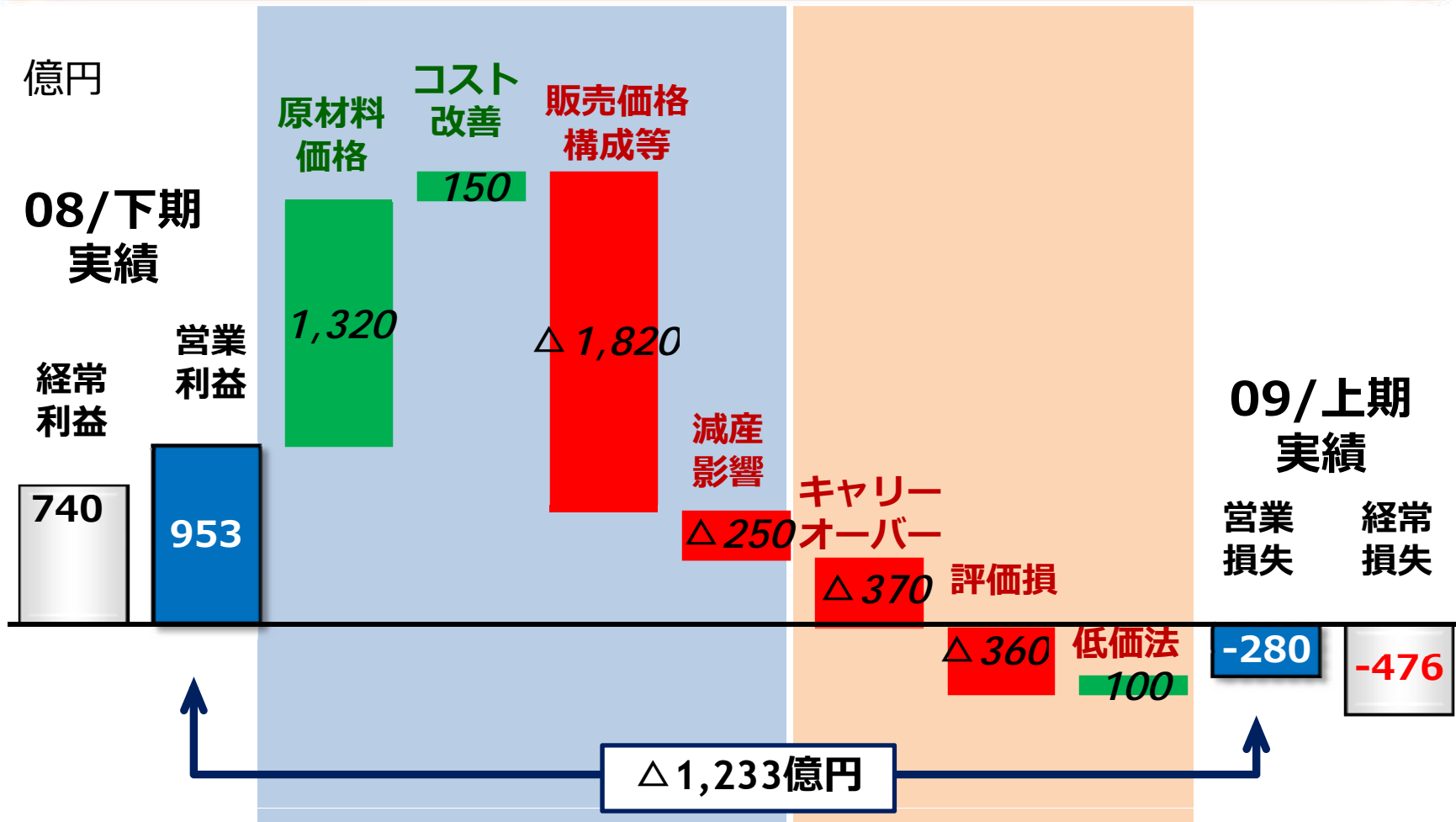
億円	7/30 見通しからの変動 120億円			
09/1Q 実績	・ 販売数量増	50億円	・ 原材料価格	△30億円
	・ コスト改善/固定費	60億円	・ 販売構成等	△60億円
	・ キャリーオーバー	30億円	・ 評価損	△80億円
	・ 低価法 (戻り)	150億円		
			09/2Q 実績	



● 持分法損益 <09/1Q> △54億円 → <09/2Q> △62億円

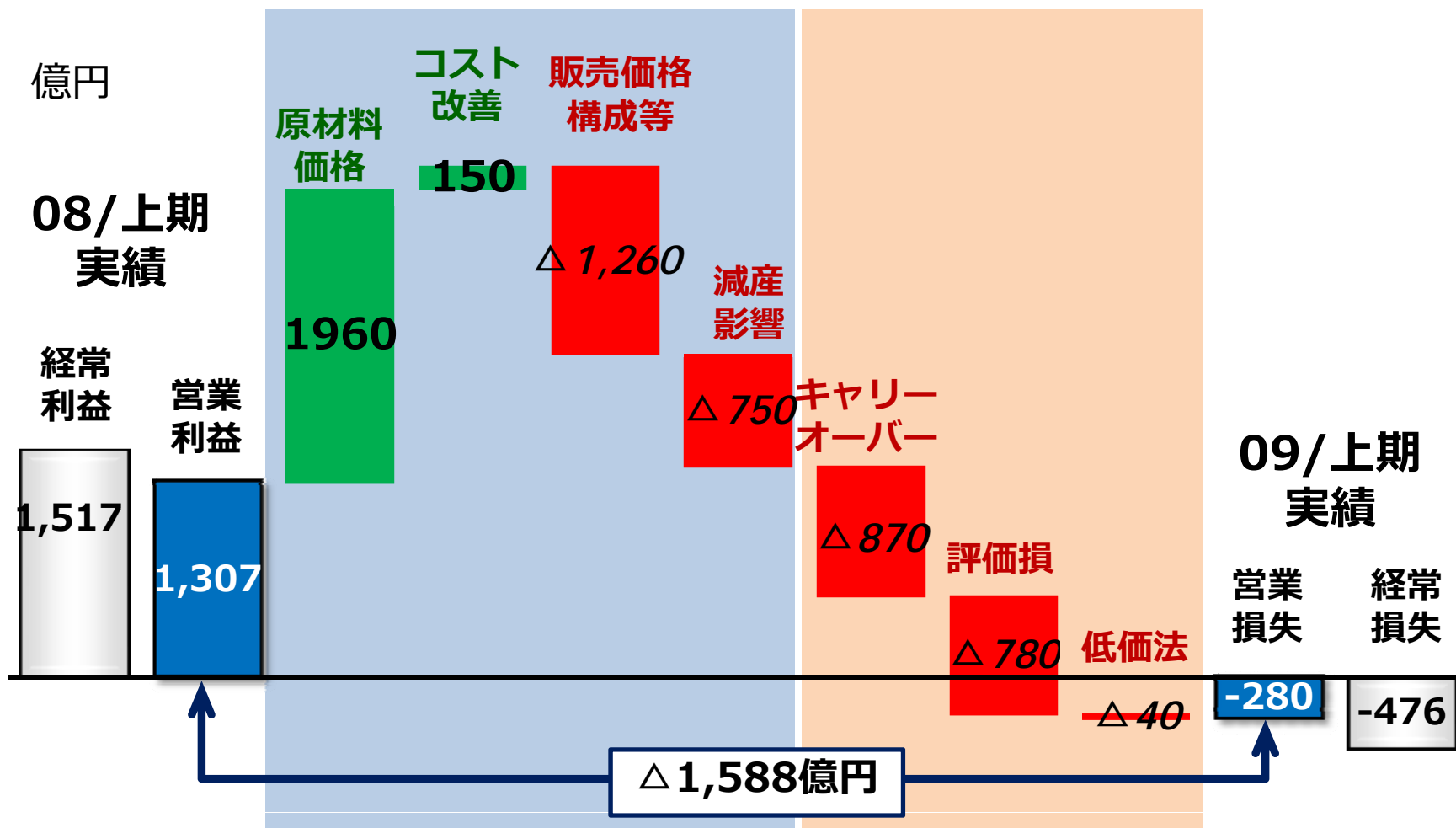
# 営業利益増減 (08/下期→09/上期)

輸出市況悪化、シームレス減等の構成悪化に加え、キャリアオーバー、評価損等の一過性要因も加わり損益は大幅に後退



- 持分法損益 <08/下期> △20億円 → <09/上期> △117億円

# 営業利益増減 (08/上期→09/上期)



- 持分法損益 <08/上期> 242億円 → <09/上期> △117億円

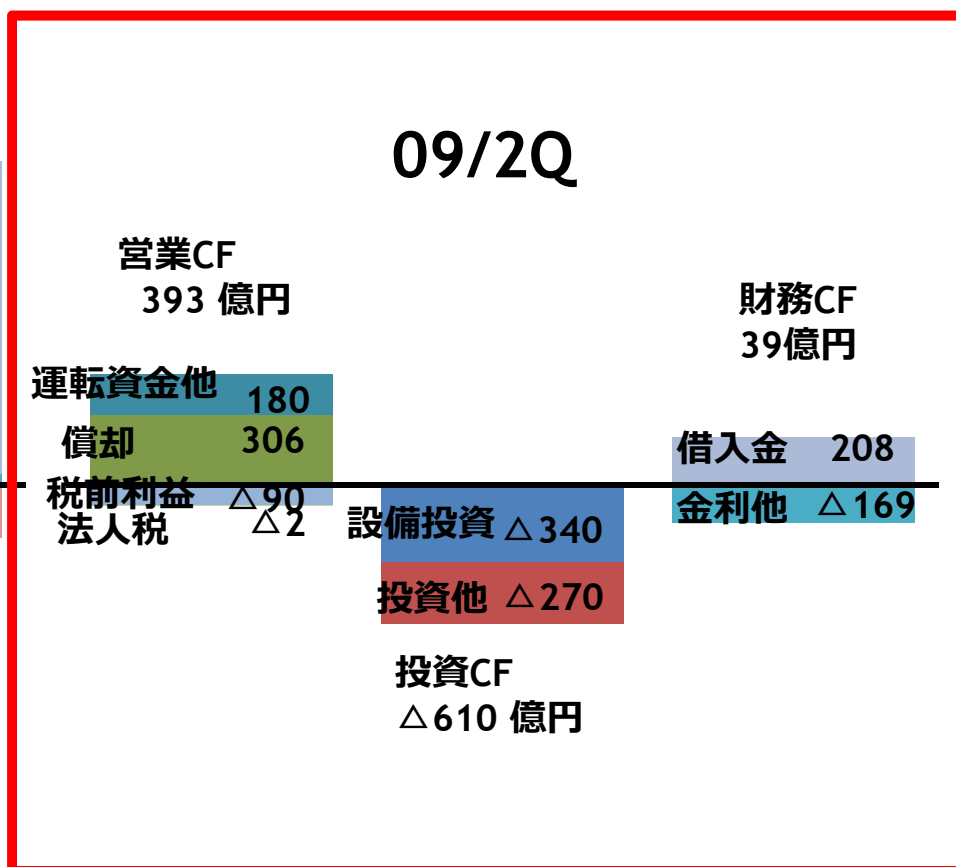
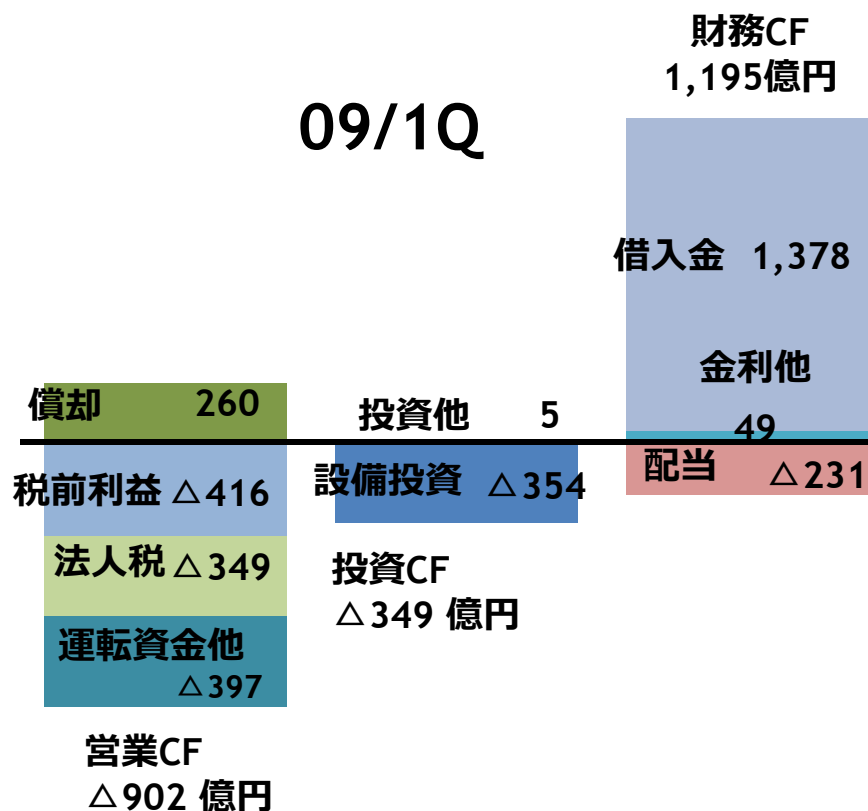


# 09/9E BS概況

億円	08		09			% 09/3E 対比	
	9E	12E	3E	6E	9E		
【資産】							
流動資産	8,164	8,312	7,373	6,921	<b>6,394</b>	△13.3	△978
固定資産	17,457	17,194	17,151	17,521	<b>17,725</b>	3.3	574
資産合計	25,622	25,506	24,525	24,442	<b>24,120</b>	△1.6	△404
【負債および純資産】							
流動負債	8,350	8,427	7,439	6,945	<b>5,971</b>	△19.7	△1,467
固定負債	7,435	7,584	8,041	8,584	<b>9,408</b>	17.0	1,366
純資産	9,835	9,495	9,043	8,912	<b>8,740</b>	△3.4	△303
借入残高	9,106	9,608	9,900	11,278	<b>11,487</b>	16.0	1,587

# 09/上期 キャッシュフローの状況

	09/3E	増減	09/6E	増減	09/9E
借入金	9,900 億円	1,378 億円	11,278 億円	208 億円	11,487 億円
現預金	429 億円	△48 億円	381 億円	△170 億円	210 億円
ネット借入金	9,470 億円	1,426 億円	10,896 億円	379 億円	11,276 億円

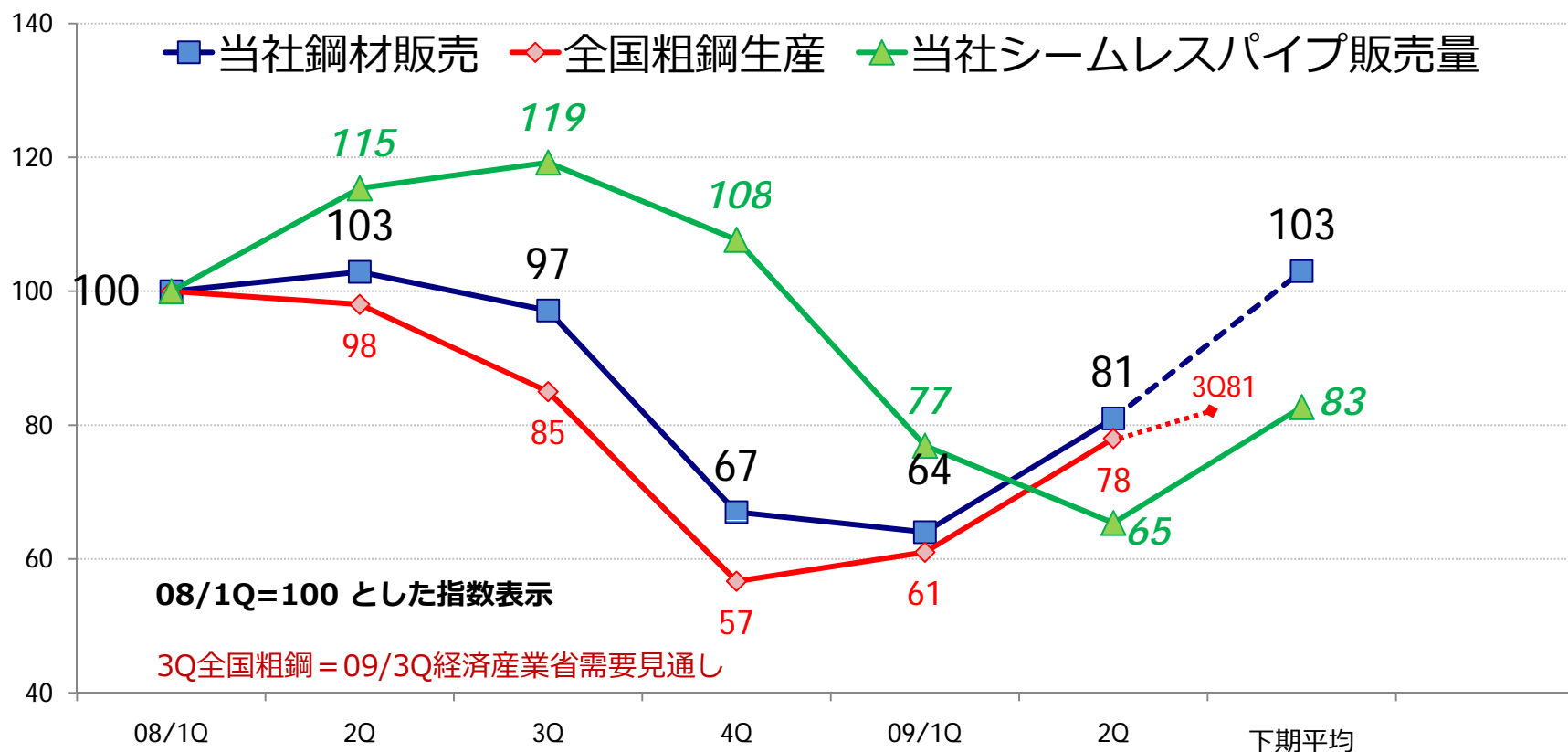


借入金増減には為替換算差額を含む

# 09年度見通し

## 生産規模変動へのフレキシブルな対応

- 自動車向け薄板・アライアンス先向けスラブ等を主体に下期販売量は回復
- シームレスパイプ販売量は一般鋼材より遅行し、2Qをボトムとして徐々に回復の見込み



# 09年度 業績見通し概況

- 前回見通しより、下期シームレスパイプ販売量を見直し
- 薄板・スラブ等の販売増、コスト削減の上積み等でカバー
- 通期営業利益見通しは従来通り、持分法損益の悪化により経常利益見通しは△50億円の下方修正

※見通しは全て概数

億円	08年度				09年度 見通し	%	08年度 対比
		上期 実績	下期 見通し	〔7/30 見通し〕			
売上高	18,444	5,987	6,910	[13,400]	12,900	△ 30	△ 5,540
営業利益	2,260	△ 280	280	[0]	0	-	△ 2,260
経常利益	2,257	△ 476	26	[△ 400]	△ 450	-	△ 2,710
特別損益	△ 312	△ 31	-	[-]	△ 31	-	280
当期純利益	973	△ 466	△ 33	[△ 450]	△ 500	-	△ 1,470
1株当り 純利益(円)	20.98	△ 10.07	△ 0.72	[△ 9.71]	△ 10.79	-	△ 31.77
為替レート(円/\$)	101	95	90	[93]	93	-	8円高
借入残高	9,900	11,487	11,400	[11,400]	11,400	15	1,500
D/Eレシオ	1.15	1.39	1.41	[1.42]	1.41	-	0.26

# 09年度 販売量等の推移

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む  
 ※見通しは全て概数

			08年度					09年度見通し	08年度対比	
	上期	下期		1Q	2Q	上期	下期見通し			
為替レート (円/\$)	106	95	101	97	94	95	90	93	8円高	
粗鋼生産量 (万ト)	704	584	1,287	228	279	507	663	1,170	△117	
鋼材販売量 (万ト)	633	511	1,144	198	253	451	644	1,095	△49	
シームレスパイプ販売量(万ト)	56	59	115	20	17	37	43	80	△35	
鋼材平均単価 (千円/ト)	国内	113.7	126.6	119.2	110.5	93.4	100.7	89	94	△25
	輸出	124.8	136.3	130.2	108.5	80.2	93.0	72	81	△49
	平均	118.6	131.3	124.3	109.4	86.8	96.8	81	88	△36

ドルバランス

08年度  
ドル支払超過  
2億\$程度

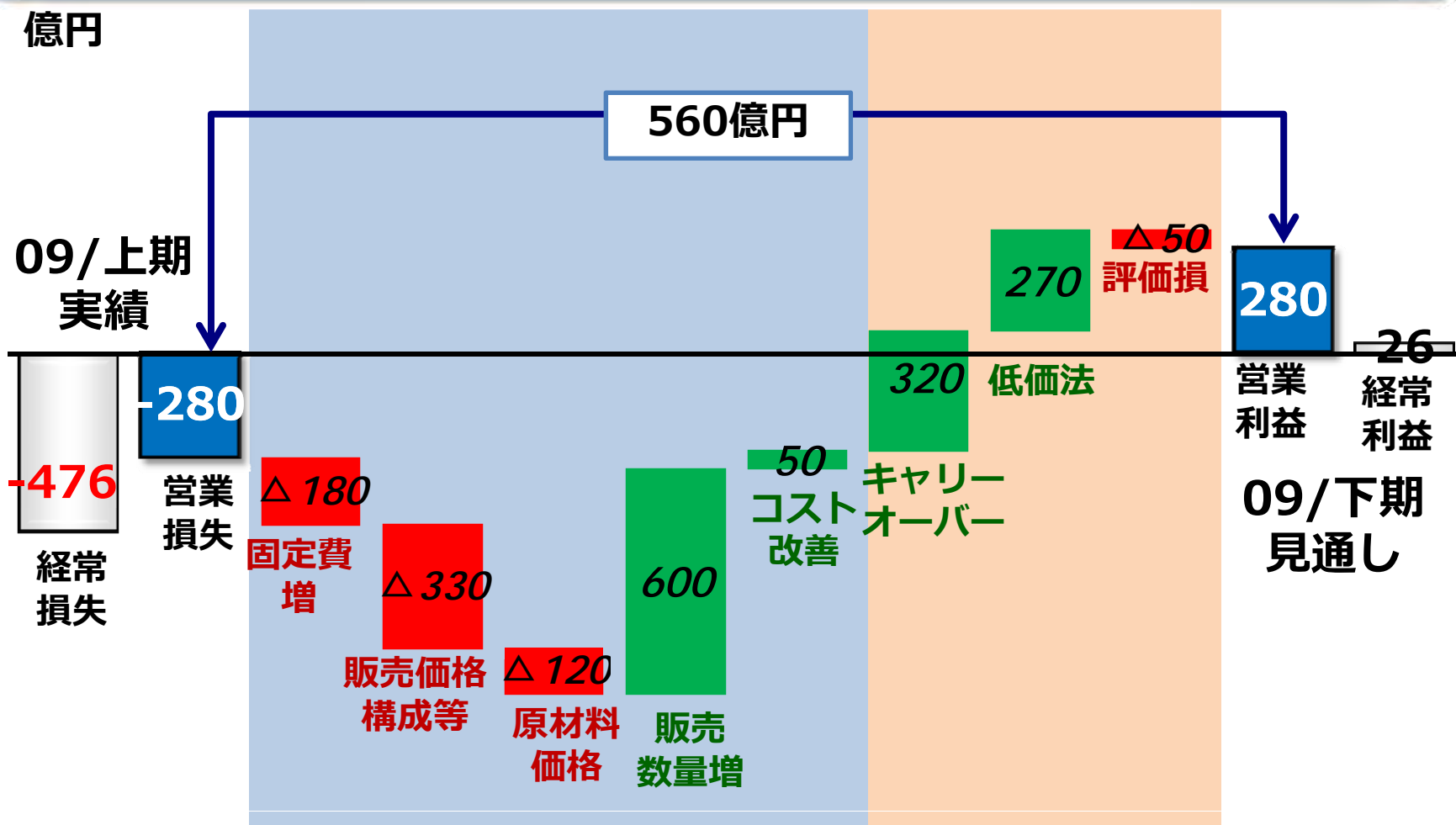


09年度  
ドル受取超過  
7億\$程度

09年度為替予約済み

# 営業利益増減（09/上期→09/下期見通し）

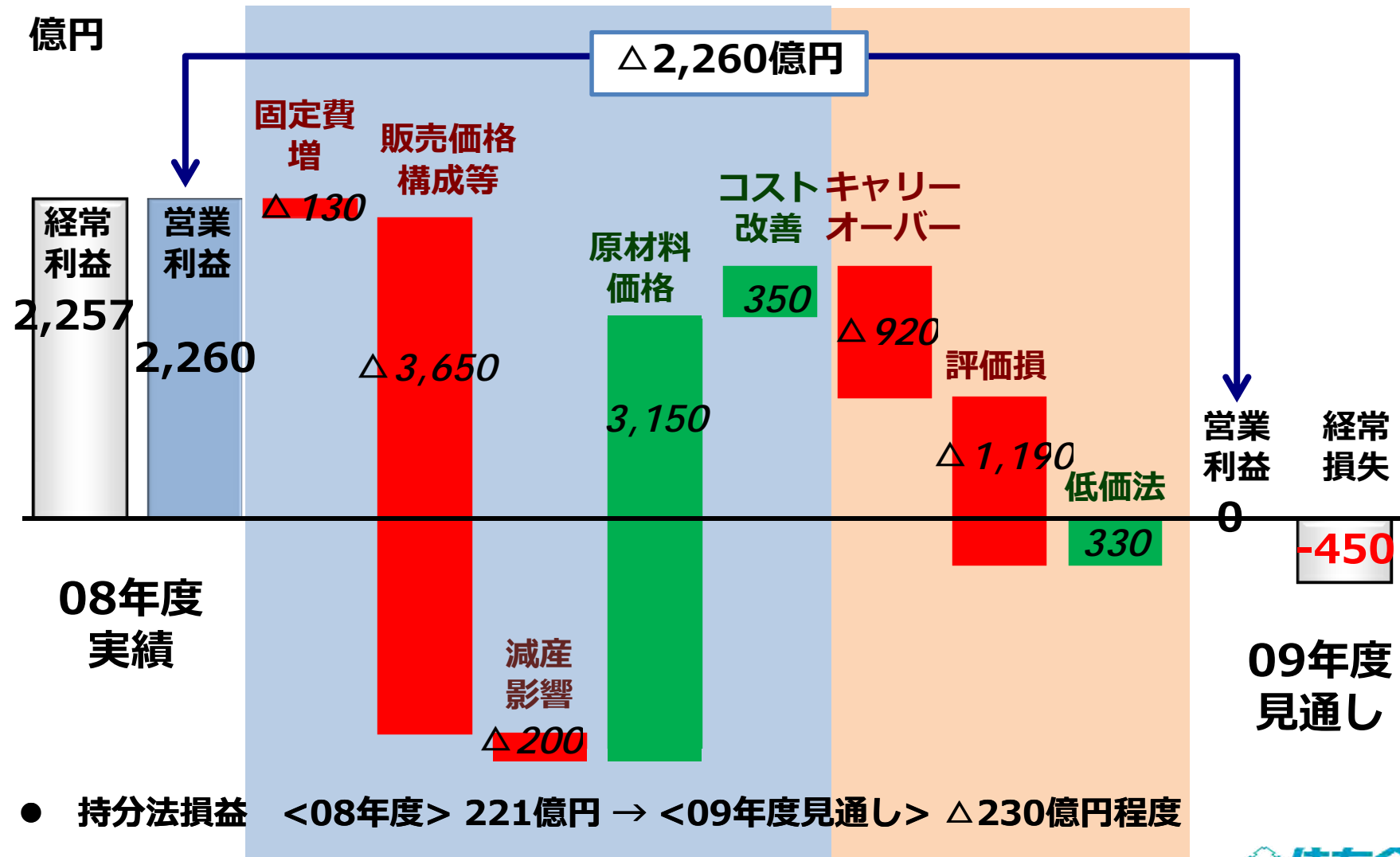
販売量の回復、一過性要因の縮小により営業損益は560億円程度好転し、黒字回復の見通し



- 持分法損益 <09/上期> △117億円 → <09/下期見通し> △110億円程度

# 営業利益増減（08年度→09年度見通し）

営業利益見通しは前回通り、経常損益は持分法損益の悪化等を織込み、50億円の下方修正



- 持分法損益 <08年度> 221億円 → <09年度見通し> △230億円程度



# シームレスパイプの状況

- 2Qをボトムとして数量は緩やかに回復、通期販売量は80万ト程度
- 当社販売価格は、受注／販売リードタイムの関係より、ボトムは下期となる見通し

## 品種別の動向

品種	マーケット環境	当社販売数量
(OCTG) 長期契約品	開発意欲堅調、安定した動き	年間数量はほぼ昨年並み
(OCTG) SPOT品	買い控えは収束傾向 米国市場はガス価格回復待ち	2Qをボトムとして緩やかに回復
(ラインパイプ)	店売り在庫は徐々に適正化 プロジェクトは活発化の兆し	中東プロジェクト向け等を主体に増加
(特殊管) ボイラチューブ	中国・欧州等の火力発電 プロジェクトの回復は遅延	ユーザーの在庫調整もあり、 下期も数量は低迷
(特殊管) 原子力向けSG管	活発な引き合いが続く	フル生産継続
(メカニカル管) 自動車・建機向け	在庫調整終了に伴い活動水準 並みの発注に復帰	2Qをボトムとして回復傾向

# セグメント・カンパニー別売上高等の状況

※見通しは全て概数

億円	08年度			7/30 見通し	上期	下期 見通し	09年度 見通し	年度 増減
		1Q	2Q					
鋼板・建材	7,001	989	1,244	[2,200]	2,233	2,710	4,950	△2,050
鋼 管	7,169	1,228	1,078	[2,250]	2,307	2,490	4,800	△2,370
交通産機品	1,054	198	211	[420]	409	490	900	△150
住友金属小倉	1,480	207	207	[430]	414	530	950	△530
住友金属直江津 他	701	110	101	[200]	212	280	500	△200
鉄鋼セグメント計	17,407	2,733	2,843	[5,500]	5,577	6,500	12,100	△5,300
その他	1,036	171	238	[400]	409	400	800	△240
売上高計	18,444	2,904	3,082	[5,900]	5,987	6,900	12,900	△5,540

## (参考) 鉄鋼セグメント主要カンパニー連結営業利益 (概数)

鋼板・建材	950	△330	190	[△250]	△140	140	0	△950
鋼 管	1,070	△30	△10	[△100]	△40	△10	△50	△1,120
住友金属小倉	20	0	△130	[△100]	△130	60	△70	△90
鉄鋼セグメント計	2,308	△344	48	[△400]	△295	250	△50	△2,360
その他	△47	△1	14	[0]	15	30	50	100
営業利益計	2,260	△345	63	[△400]	△280	280	0	△2,260

## 利益配分に関する基本方針

- 「質」と「規模」のバランスの取れた持続的成長を通じて企業価値を最大化
- 事業が生み出すキャッシュは、企業価値を高める投資に充当
- 投資戦略は以下を基準に実施し、その成果を株主の皆様に還元
  - ➡ 差別化の加速に資する投資であること
  - ➡ 資本コストを上回る便益をあげて企業価値向上に貢献すること
- 配当は安定配当を基本とする

## 財務体質運営指針

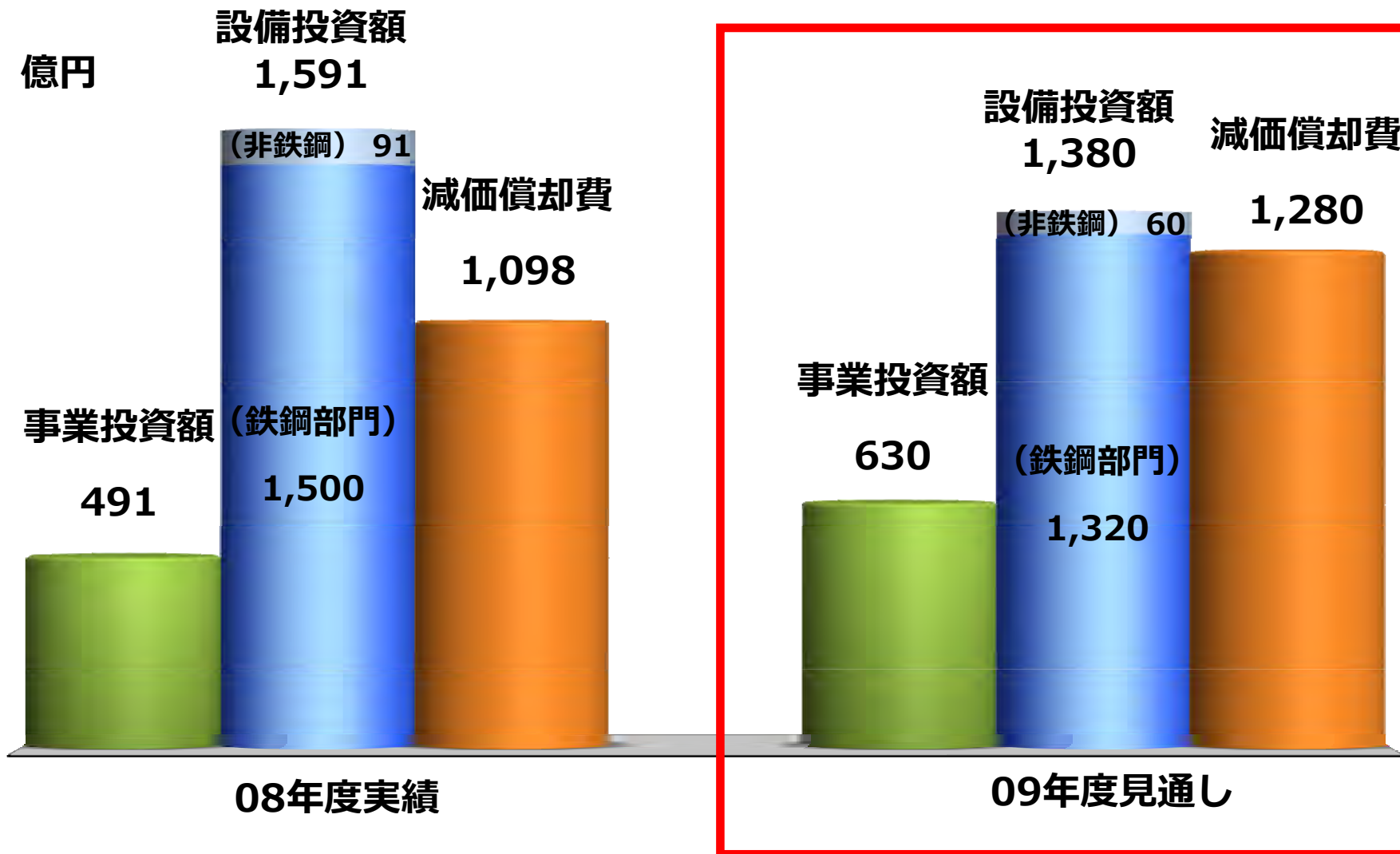
- D/Eレシオで 1.0未満を目標として運営

## 当期（10/3月期）配当予想

- 5円~/株（中間配当 2.5円/株, 期末配当 2.5円~/株）

# 事業投資・設備投資・減価償却費の見通し

設備投資額は工事ベース  
事業投資額は支払いベース



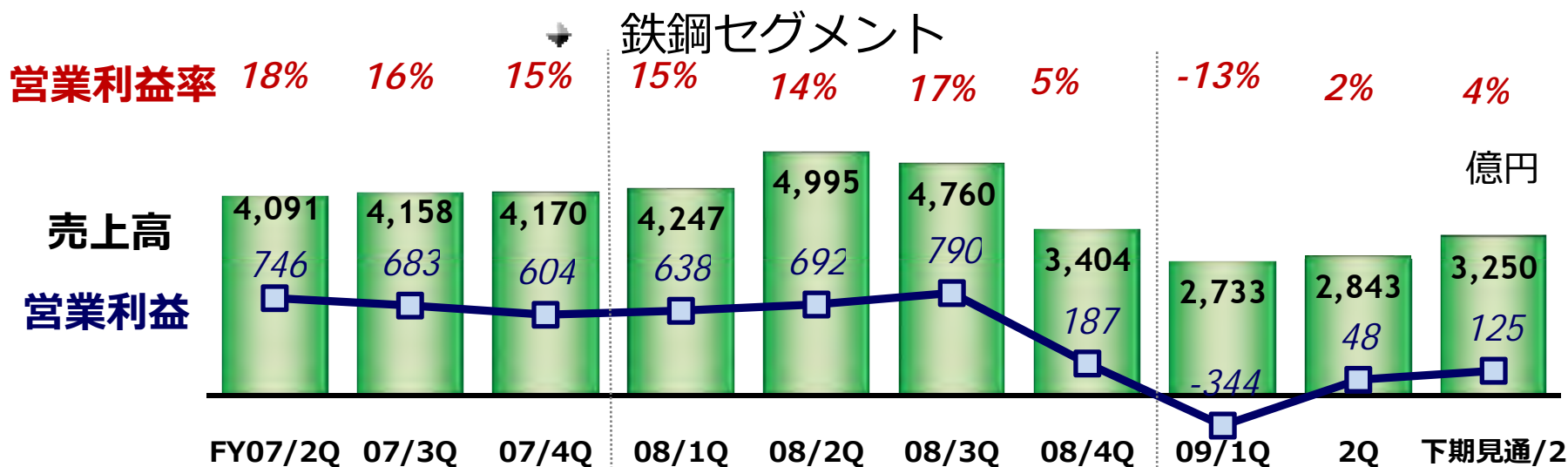
# 主要設備投資・事業投資の進捗

稼働予定年月で記載		投資額	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13
<b>設備投資</b>								
鋼管	和歌山上工程更新 新第1高炉+環境対応強化等 新第2高炉+CC増強等	1,600 億円 1,150 億円		09/7				12/下期
	シームレスパイプ 最先端商品増産	350 億円	08/7					
	超高強度ラインパイプ増産	100 億円				11/3		
その他	住金小倉製鋼プロセス革新	270 億円				10/8		
<b>事業投資 (JVの場合の投資額はJV合計額)</b>								
鋼板建材	ベトナム薄板JV (CSSV)	1,150 億円						12/年初
	インドブーシャン社高炉一貫PJ	技術援助						
鋼管	ブラジル高炉一貫シームレス(VSB)	2,000 億円				10/年央		
	バローレックとの資本提携 シームレス特殊継手ネジ切り事業強化	120 億円 80 億円		● 09/2	● 株式取得			
交通産機	インドクランクシャフト合併	資本金 5.4億円 <sup>°</sup> -		● 09/7				
その他	NAMISA 鉄鉱石鉱山権益取得	191 億円		● 08/12				

# 參考資料

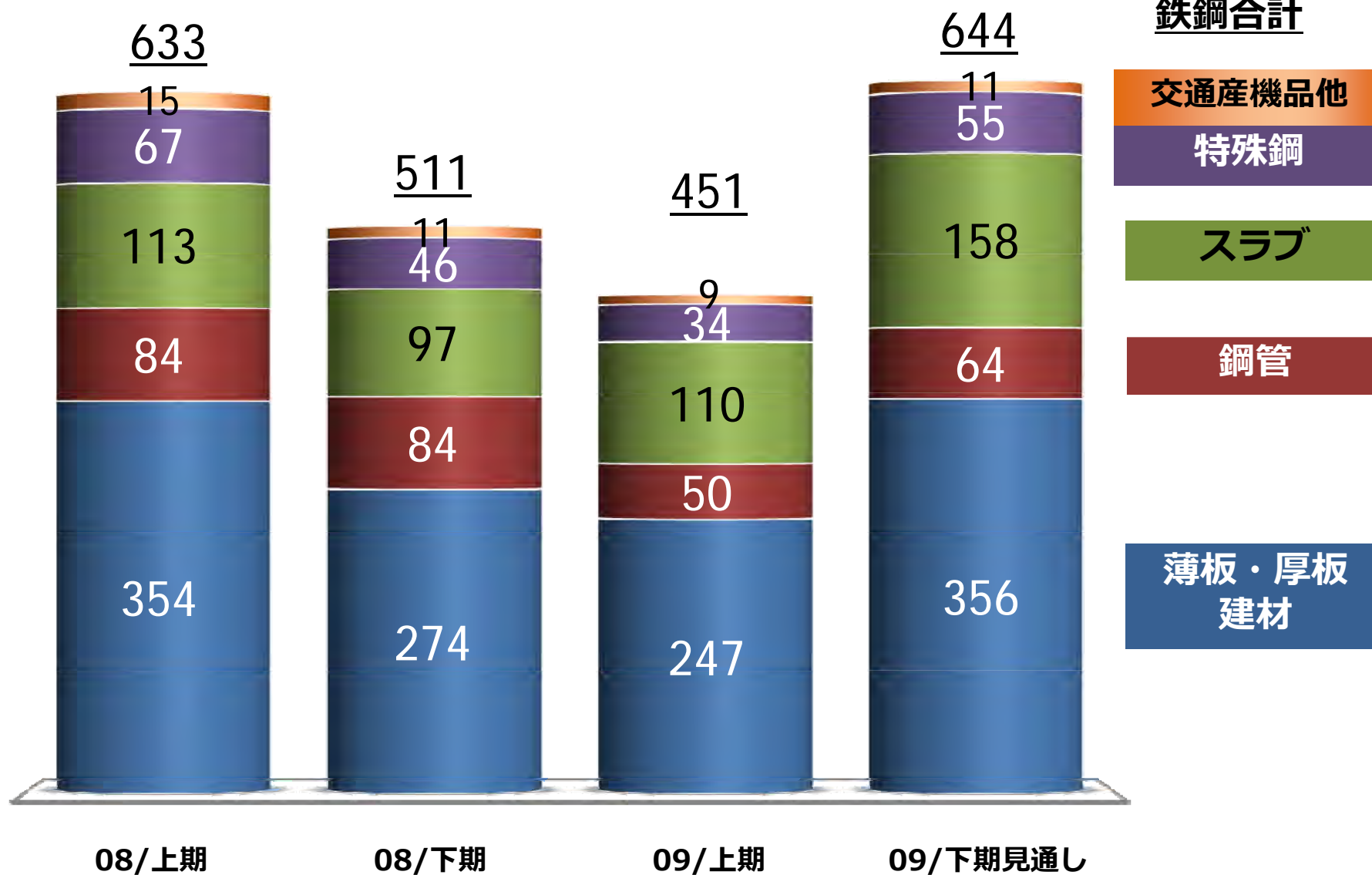
# セグメント別売上高・営業利益 四半期別推移

億円	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	2Q	3Q	4Q	09/1Q	2Q	下期見通し
鉄鋼	4,091	4,158	4,170	4,247	4,995	4,760	3,404	2,733	2,843	6,500
エンジニアリング	39	32	50	21	30	23	41			
エレクトロニクス	160	169	143	159	136	95	62			
その他	122	109	133	93	128	132	110	171	238	400
連結売上高	4,414	4,469	4,498	4,522	5,290	5,012	3,618	2,904	3,082	6,900
鉄鋼	746	683	604	638	692	790	187	-344	48	250
エンジニアリング	-0	0	3	-1	-3	0	2			
エレクトロニクス	1	0	-2	1	-3	-9	-34			
その他	11	15	20	-16	0	9	7	-1	14	30
連結営業利益	758	699	627	621	686	790	162	-345	63	280



# 鋼材品種別販売量推移

万トン





# 09年度 一過性要因

\*見通し,特殊要因は全て10億円単位概数

25

億円			08年度			上期	下期見通し	09年度見通し	年度増減
	上期	下期		1Q	2Q				
キャリーオーバー	500	0	500	△290	△80	△370	△50	△420	△920
評価損益	610	△50	560	△530	△150	△680	△160	△840	△1,400
原価差額調整計算	△180	60	△120	440	△110	330	△240	90	210
<b>評価損益計</b>	<b>430</b>	<b>10</b>	<b>440</b>	<b>△90</b>	<b>△260</b>	<b>△350</b>	<b>△400</b>	<b>△750</b>	<b>△1,190</b>
期首戻し		30		200	450	200	270	200	200
期末適用	△30	△200	△200	△450	△270	△270	△70	△70	130
棚卸簿価(低価法)	△30	△170	△200	△250	180	△70	200	130	330
<b>一過性要因計(概数)</b>	<b>900</b>	<b>△160</b>	<b>740</b>	<b>△630</b>	<b>△160</b>	<b>△790</b>	<b>△250</b>	<b>△1,040</b>	<b>△1,780</b>

## 09年度 単独業績見通し

※見通しは全て概数

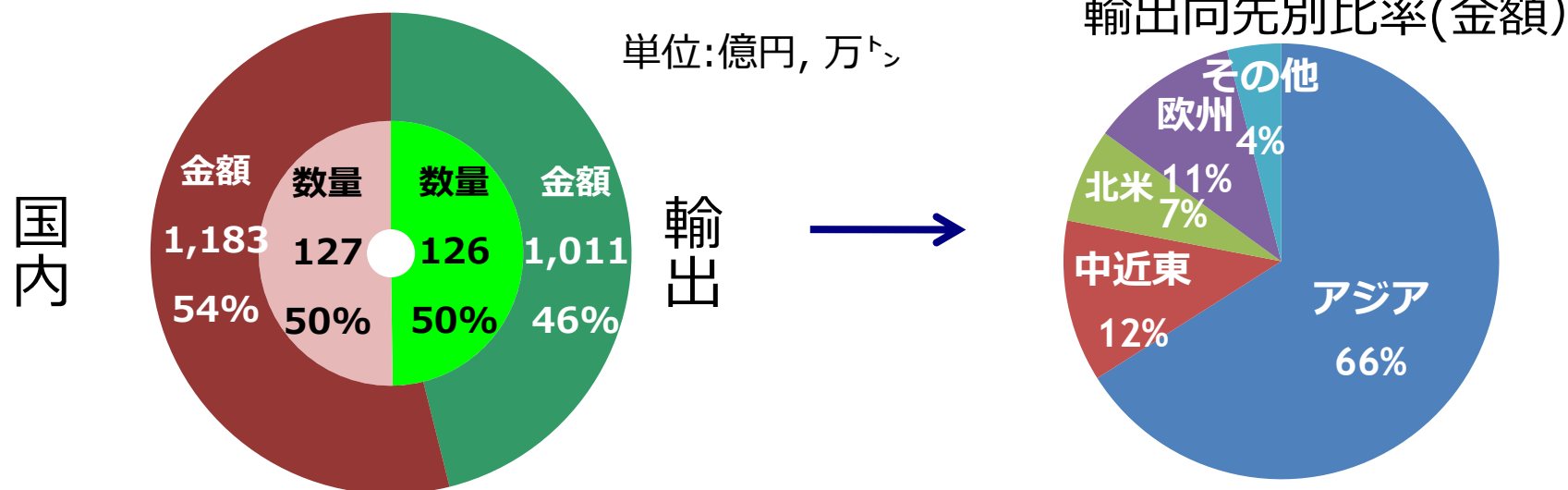
億円	08年度				7/30 見通し	09年度 見通し	%	08 年度 対比
		7/30 見通し	上期 実績	下期 見通し				
売上高	12,460	[3,900]	3,960	4,239	[8,900]	8,200	△34	△4,260
営業利益	1,876	[△100]	41	158	[350]	200	△89	△1,680
経常利益	1,911	[△100]	52	47	[300]	100	△95	△1,810
特別損益	△362	[-]	△31	-	[-]	△31		330
法人税等 (含む調整額)	△641	[50]	△10	△7	[△100]	△18		620
当期 純利益	907	[△50]	9	40	[200]	50	△94	△860

# 特別損益の状況

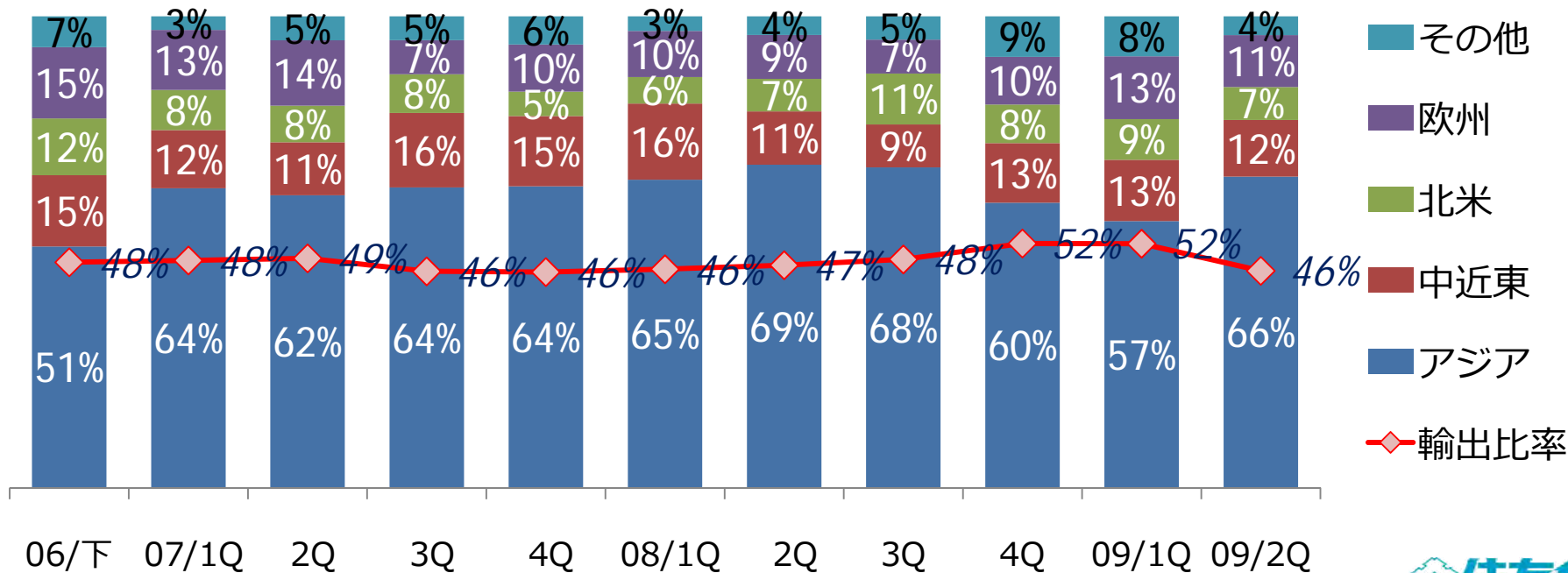
億円					09年度 見通し
	1Q	2Q	上期	下期 見通し	
持分変動損失	-	△ 15	△ 15	-	△ 15
事業再編損	-	△ 15	△ 15	-	△ 15
<b>特別損失</b>	-	<b>△ 31</b>	<b>△ 31</b>	-	<b>△ 31</b>

- ① 持分変動損失  
電弧溶接ステンレス鋼管事業統合における子会社株式のみなし売却損失
- ② 事業再編損  
(株)住友金属マイクロデバイスの事業再編に伴う損失

# 09/2Q 鉄鋼製品 国内・輸出別売上高



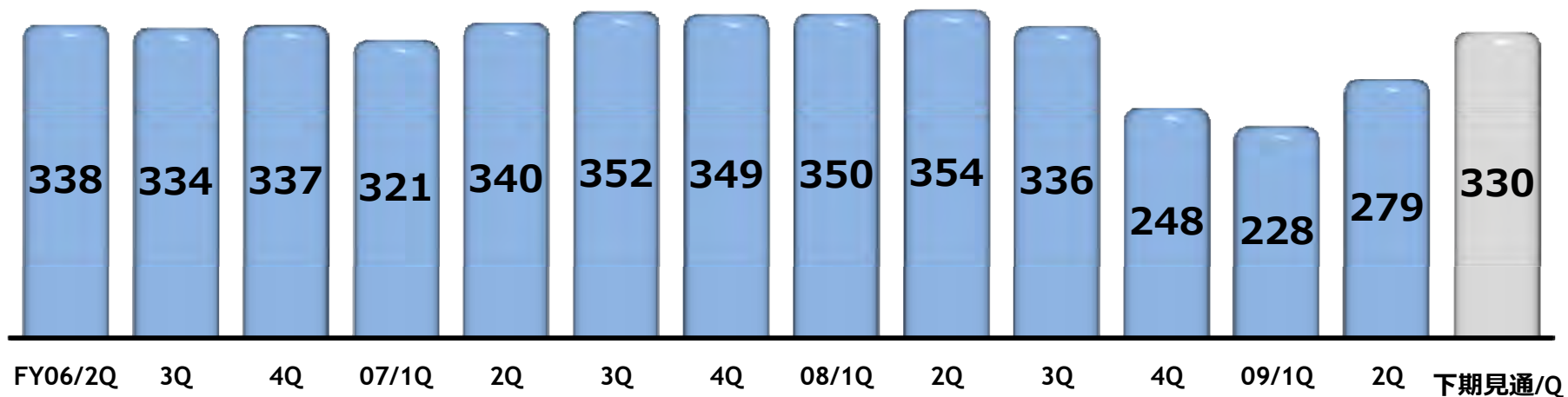
鉄鋼製品輸出向先別比率(金額) の推移



# 参考数值 (1)

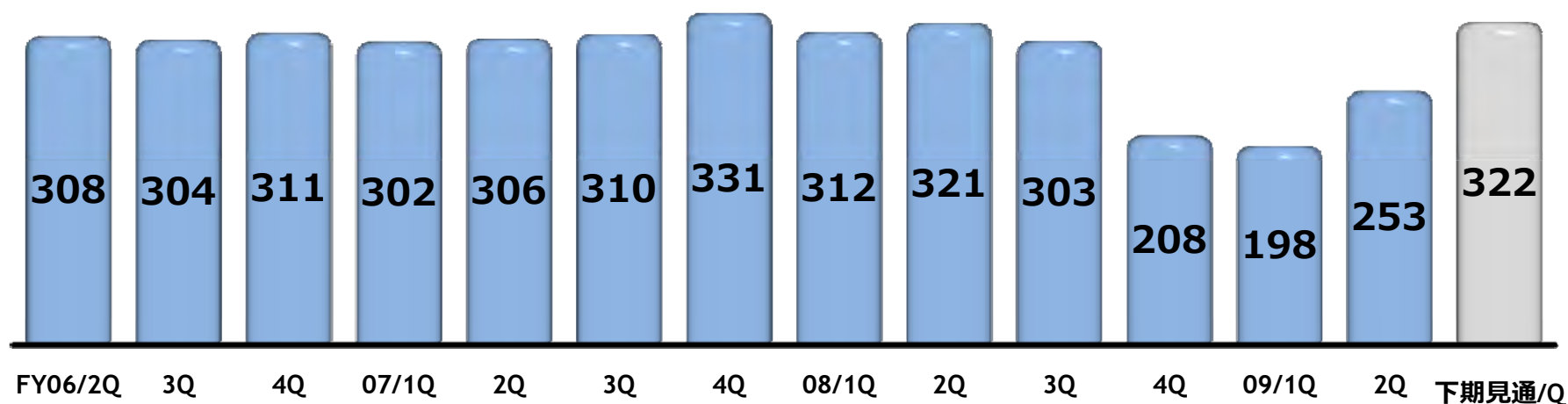
## 当社粗鋼生産量

万ト



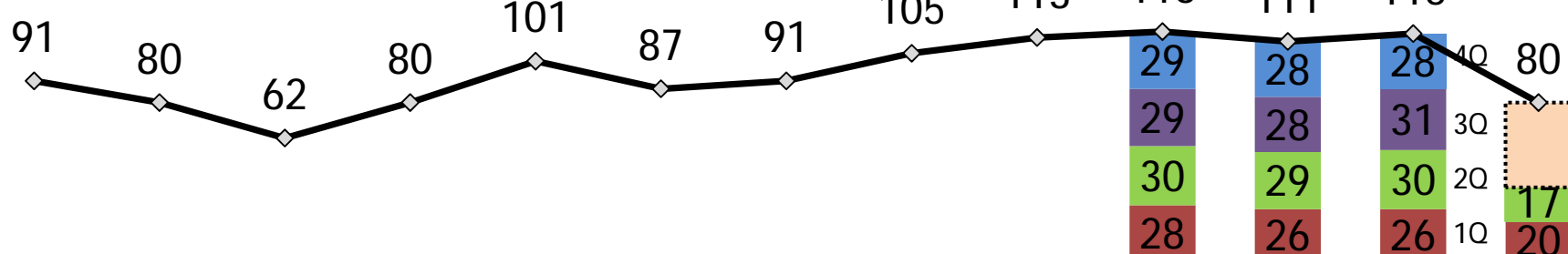
## 当社鋼材販売量

万ト



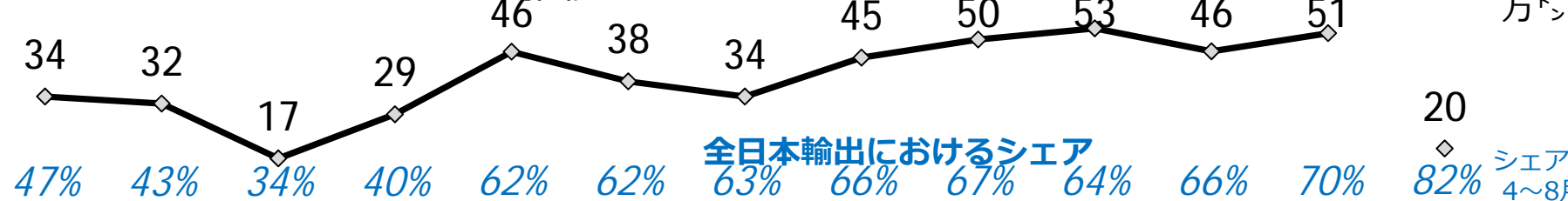
# 参考数値 (2)

シームレスパイプ販売量推移



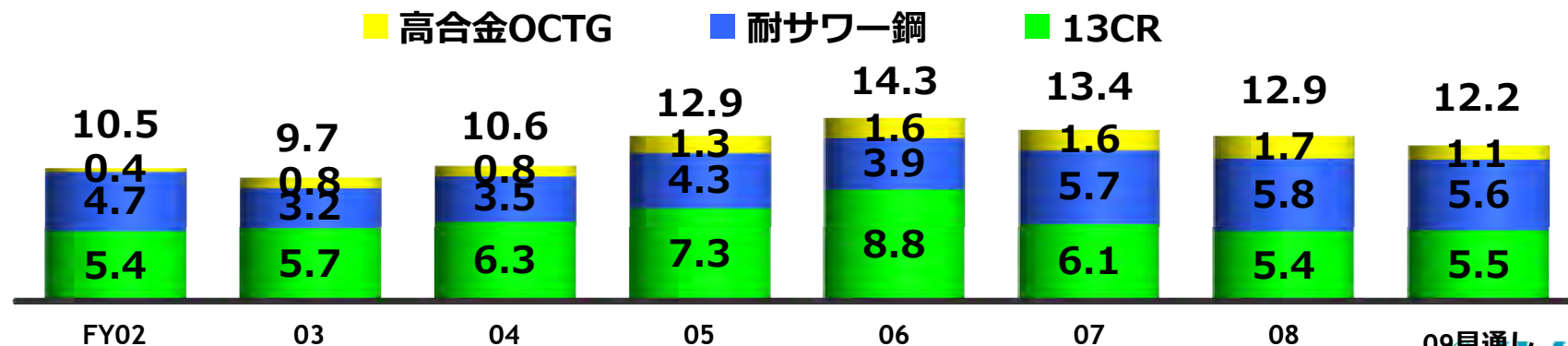
FY97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09

シームレスパイプOCTG輸出量推移



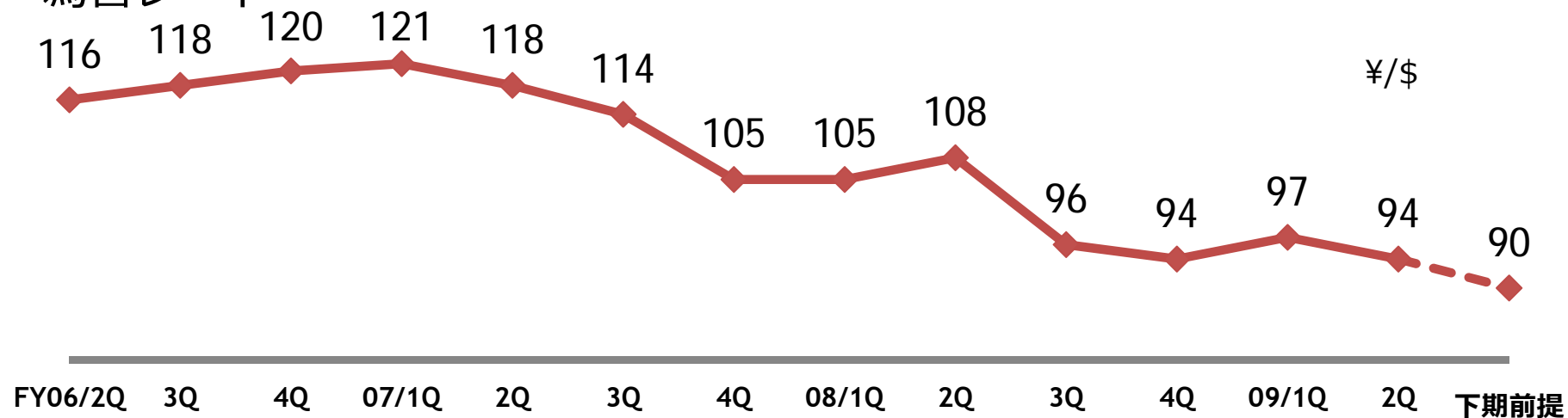
FY97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09上期

シームレスパイプ スーパーハイエンド品 販売量推移

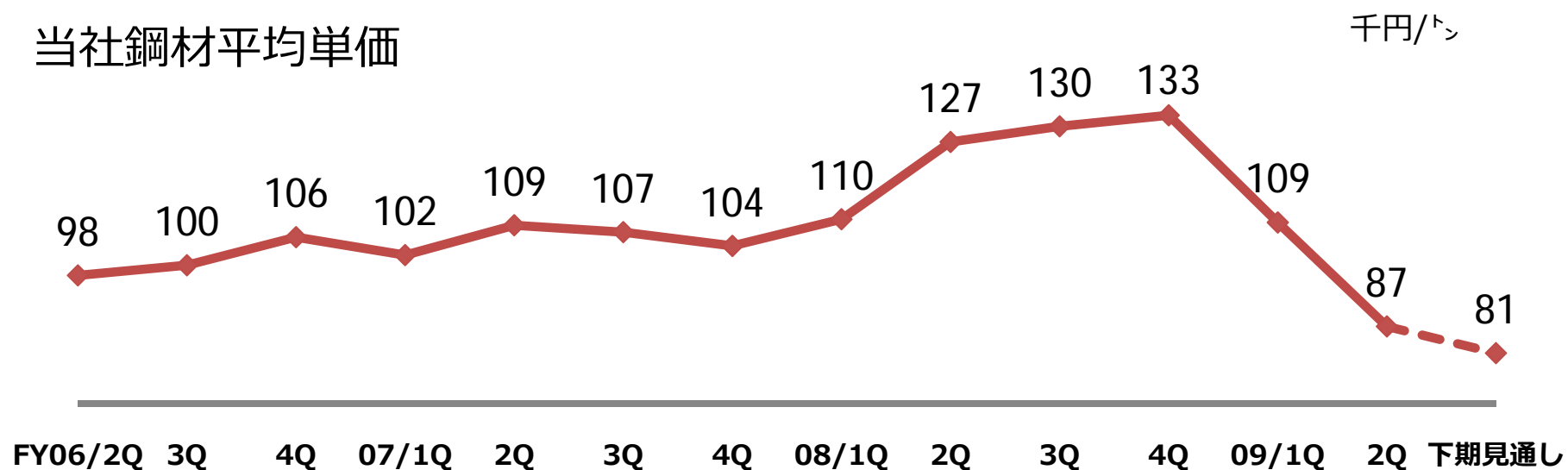


## 参考数値 (3)

為替レート



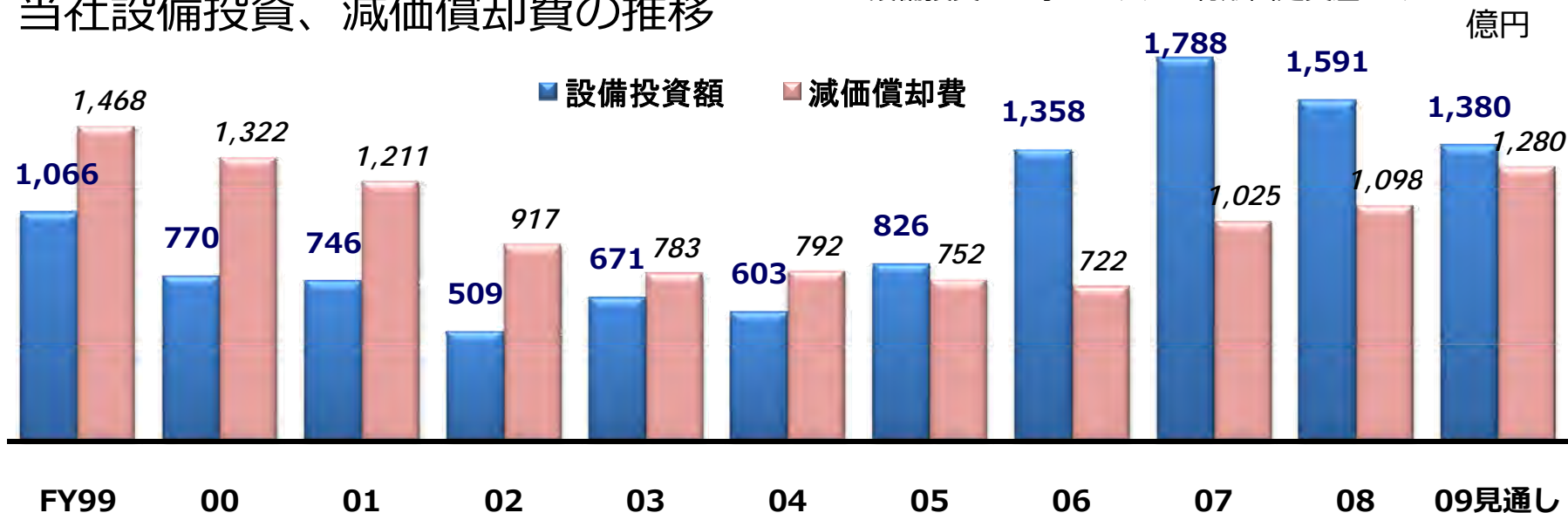
当社鋼材平均単価



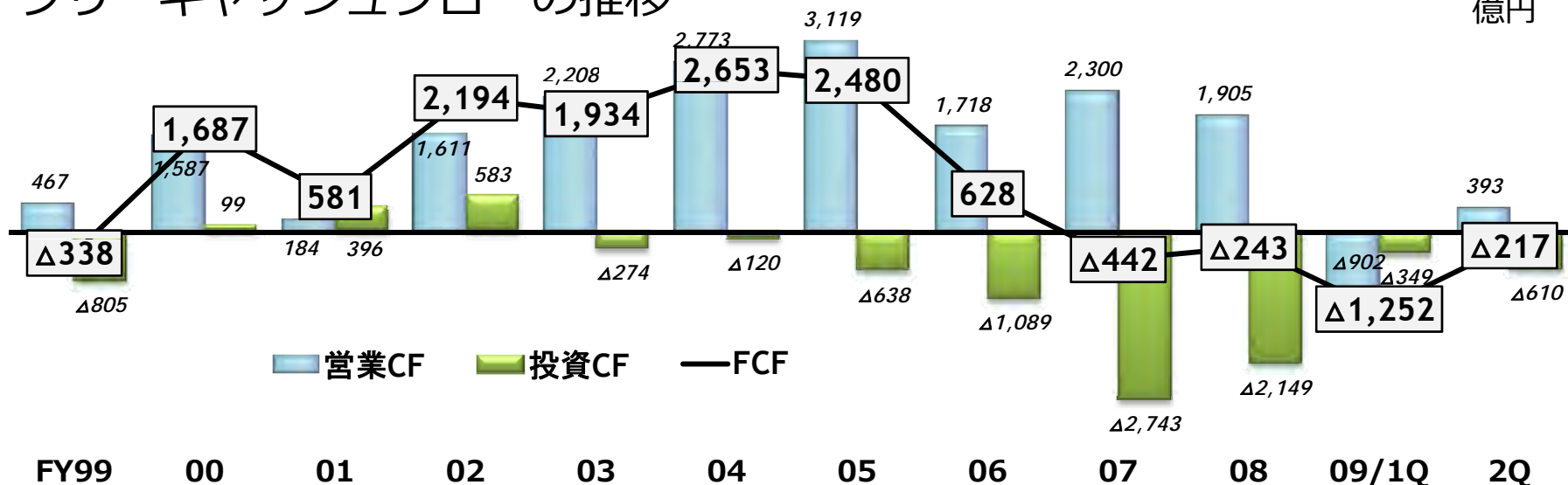
# 参考数値 (4)

## 当社設備投資、減価償却費の推移

※設備投資は工事ベース \*有形固定資産のみ



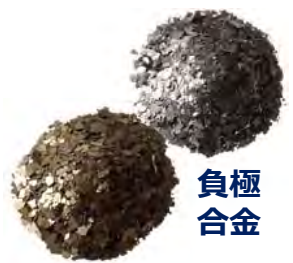
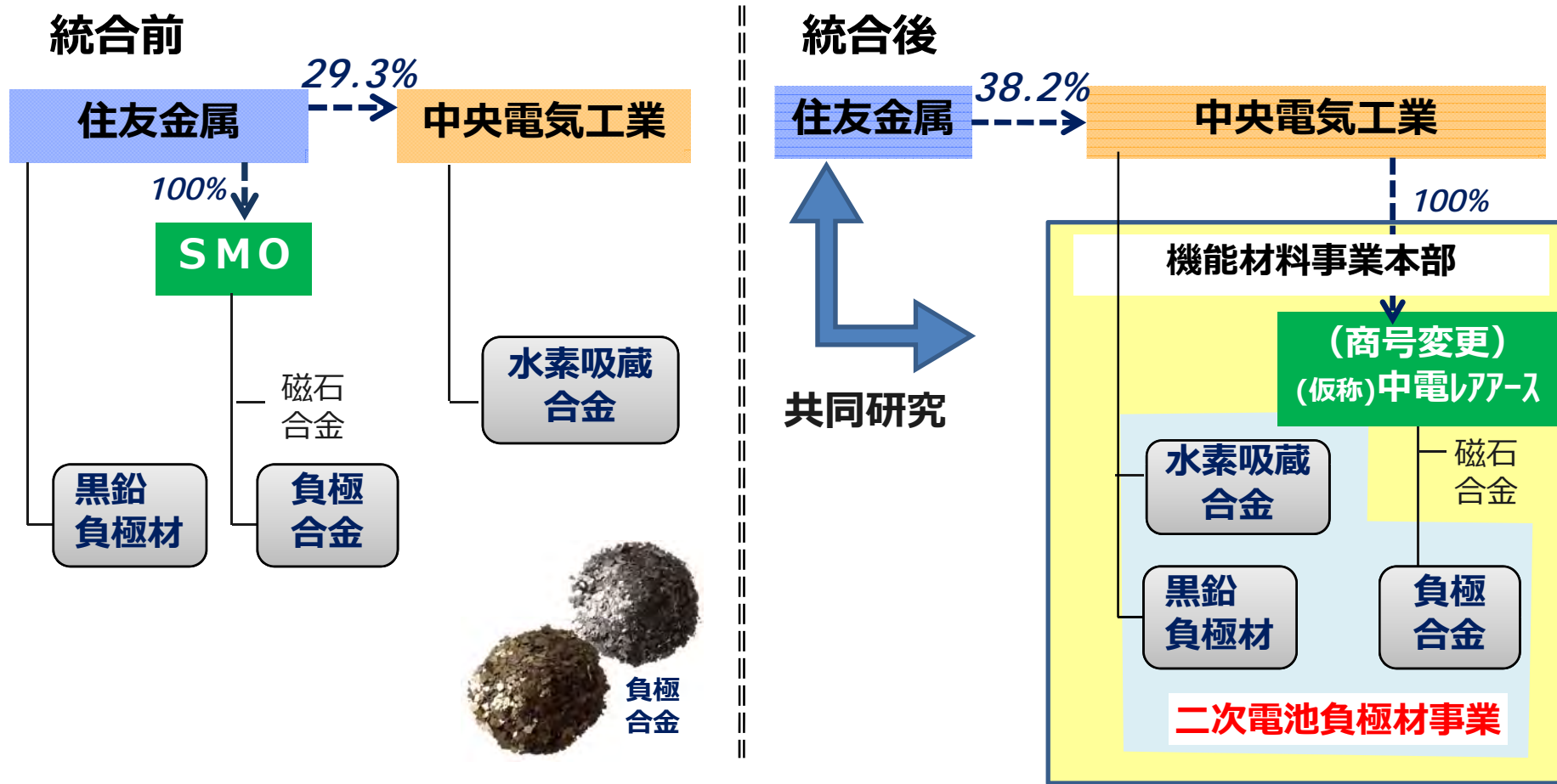
## フリーキャッシュフローの推移





# <参考> 二次電池材料事業の戦略的統合

住友金属工業の [黒鉛負極材事業] 及び [住友金属工業 (SMO) 株式会社] を 中央電気工業が承継し、二次電池材料事業を中央電気工業に集約・統合



統合時期  
2009年12月1日 (予定)

## <参考> 住友金属グループの二次電池負極材料事業

負極材料事業	
<p><b>中央電気工業</b> 水素吸蔵合金トップシェア</p> <p>機能材料事業</p> <p><b>水素吸蔵合金</b></p>	<p>【商品】 ニッケル水素電池用負極材料（水素吸蔵合金）</p> <p>【顧客】 ハイブリッド自動車用電池メーカー シェア50%</p> <p>【その他】 マンガン化成品（リチウムイオン電池用正極材の原料他）の製造販売</p>
<p><b>住金モリコープ</b> 磁石用合金リーディングカンパニー</p> <p><b>負極合金材</b></p>	<p>【商品】 リチウムイオン二次電池用負極材料（合金系）</p> <p>【顧客】 二次電池メーカー（民生用）</p>
<p><b>住友金属工業</b></p> <p><b>黒鉛負極材</b></p>	<p>【商品】 リチウムイオン二次電池用負極材料（黒鉛）</p> <p>【顧客】 二次電池メーカー（民生用）</p>

「質重視」による企業価値の  
持続的向上を目指す



ステークホルダーの皆様から  
信頼される会社へ